

## ...本書利用にあたって...

本書には日常診療の折によくみられる疾患の薬物治療について、各科の専門医が症状別にスタンダードと考えられる処方を掲載したものです。

まず、対象となる疾患の定義や病態、治療の原則などを、「病気についての基礎知識」の欄で解説しています。予備知識としてお役立てください。

「薬の使い方・処方例」において、実際の処方を具体的に掲載しました。例をご参照のうえ、実際の処方にご活用ください。

例)

の場合

具体的な症状、患者さんの状態、治療法別に見出しがつけ、処方例を紹介しました。

原則として  
処方番号  
薬品名（規格単位）  
1日量  
服用法  
の順で、薬の処方を紹介しています。

Rp1) プリンペラン	15～30 mg	分3
Rp2) トラベルミン	3錠	分3
Rp3) タケブロン（30 mg）	1錠	分1 朝食後
Rp4) ラキソベロン	10～20滴	睡眠前

\*原則として商品名で紹介しています

処方中、細かな注意点があれば、欄外に掲載しました。

その他、処方、投薬の際に知っておくべき重要な事柄をまとめました。実践的かつ理論的な処方の根拠としてお役立てください。

投薬上の注意

...医薬品の処方にあたって、覚えておかなければならぬ注意点と、その解説

投与期間とエンドポイント

...症状がどのようになれば、投薬をやめてよいのか、投薬終了の見極め方の指針

副作用と対策

...投薬中、起こる可能性のある副作用とその対策法を解説

服薬指導、療養指導

...患者さんに伝えるべき、処方薬や疾患の情報や注意点を紹介

► One Point Advisor ► ► ►

...投薬のコツなど、臨床医として知ってためになるサイドメモを掲載

本書内容については、正確かつ最新の情報の記載に努めておりますが、変更あるいは新しい治療法の開発など、薬物の治療法についての情報は日々変化しています。医薬品の使用にあたっては、添付文書や最新のデータをご参照のうえ、十分な注意を払って本書をご活用いただきますようお願い申し上げます。